



▶千葉県千葉市▶1966年千葉敬愛経済大学として開学  
学生数/約1700人 学部/経済(経済、経営)、国際(国際、こども教育)

Case Study

# 学生支援に生かす学修成果

↓汎用的能力を測定し学生の成長要因を探る

## 敬愛大学

前年度の外部アセスメントテスト導入により、学修意欲を高めるための可視化がさらに前進。同時に教員の意識変革も図る。



教務部長 経済学部教授 **森島隆晴**

もりしまたかはる ●1989年筑波大学大学院博士課程社会学研究科修了。筑波大学社会学系助手を経て、1995年より敬愛大学経済学部講師、1998年敬愛大学経済学部准教授、2013年より現職。

### 最大の狙いは 学生のモチベーション向上

「どうしたら学生のモチベーションを高められるか?」——本学では、この課題解決のために必要なのは、学生に自分の能力の現状とこれからどうすべきかを明確に提示することであると考え、2010年ごろから試行錯誤を続けてきました。本学にとって「学修成果の可視化」の目的は、学生のモチベーションアップです。

例えば、経済学部ではあらかじめ学生が決めた1年間の取得単位数や人間関係などの目標を、セメスターごとに「振り返りシート」で確認し、教員が学生に面談を行ってきました。キャリアセンターでは全国5000社に実施した調査結果から業界・職種ごとに必要な能力を6つの力に集約、こ

れを基に志望職業で求められる能力の現状をレクターチャートで学生に示し、キャリアサポートを行ってきました。

2018年からは、思考力などの汎用的能力を測る外部アセスメントテストを全学に導入しました。単位数や学修時間などのアウトプットだけではなく、カリキュラム全体や大学での対人関係、経験などを通じた学生の成長度というアウトカムを測る指標が必要だったからです。

### 汎用的能力伸長のプロセスに注目

アセスメントテスト導入を機に、学修成果の可視化とその活用を全学共通で行うように改めました。テスト結果を就職活動に役立ててほしいとの思いから、受検機

会は1、3年次に設定し、経済学部「振り返りシート」にテストに関する項目を追加、実施範囲を全学部に拡大しました。受検前に目標を、受検後に達成度や感想などを記入させ、これを基に、ゼミ教員が面談を行います。

本学のゼミ教員と所属学生の関係は、高校までのクラス担任と生徒の関係に近く、面談もかねてより日常的に行っていました。アセスメントテストの導入により、感覚的に行っていたアドバイスに裏付けが加わり、指導の説得力が増しています。

学生も結果を見て課題が自覚できることから、積極的に次のステップに進むためのアドバイスを求めるようになりました。思うような結果が出ずに落ち込む学生もいますが、励ましを兼ねて教員が新たな行動を促すなど、コミュニ

ケーションの可能性が広がっています。

各教員が前向きに取り組んでいるのは、数年前までの学生募集状況が厳しい時期を経験していることも関係しているでしょう。学生に支持される大学になるには、何より教育の改善が必要だという考えが浸透しています。

今後は、テスト結果の背景にある要因の分析を進め、学生の気づきや行動、教員の授業や指導のうち何がスコアに影響するのかわかるとしていきます。各科目と伸びる能力の関係が明確になれば、学生のモチベーションはさらに上がるでしょう。教員の授業や成績評価も、「伸ばしたい力」をより強く意識したものになるはず。可視化を通じて学生と教員に意識の変化を促していきたいと考えています。

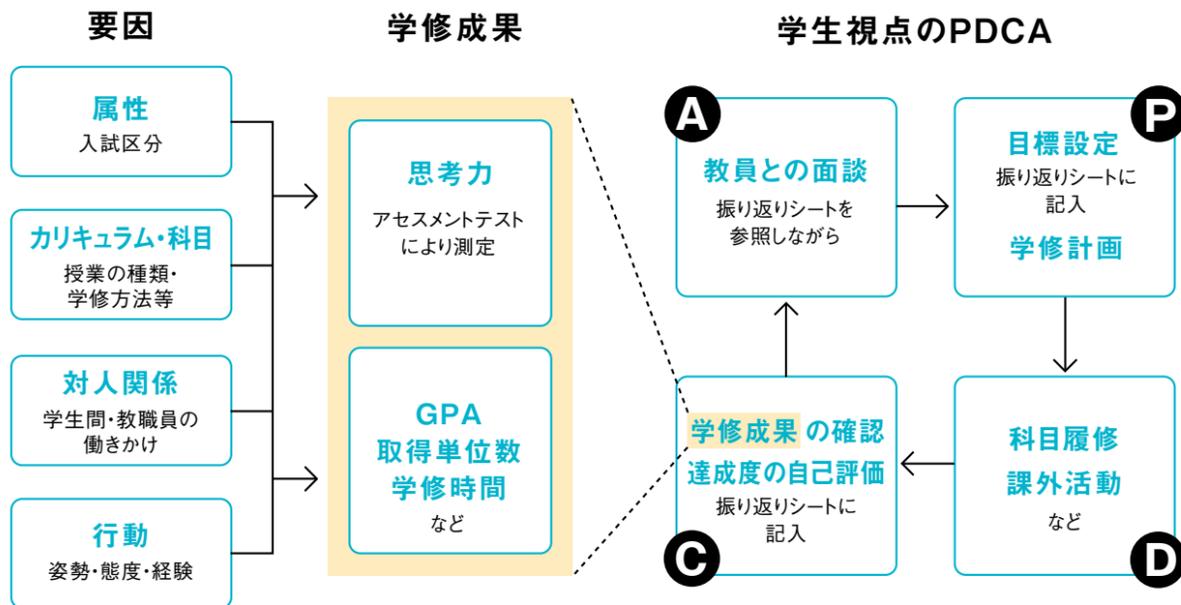
### 可視化の目的

- ▶自身の立ち位置や課題を自覚させて、学生のモチベーションを高める。
- ▶教育が正しく機能しているか検証する。
- ▶各授業の狙いをより明確化し、教育効果を高める。
- ▶教育の成果を客観的に示す。

### 組織・体制

- ▶学長がトップを務める教学マネジメント協議会で学修成果の可視化と活用を推進。IR・広報室が結果の分析を実施。

### 可視化のしかた



注目!

### 可視化の結果や伸びる力を積極的に発信し、教育力を広報

敬愛大学はWebサイトを2019年6月にリニューアル。「数字で見る敬愛大学」コーナーを新設し、卒業時の学生満足度、県内の大学平均と比較した就職率などを公開しているほか、ディプロマ・ポリシーや「KEIAI Standard」と呼ばれるカリキュラム構造を図解して伝えている。アセスメントテストの分析結果も掲載が検討されており、教育の中身と、それによる成果を積極的に外部に示す方向性が明確だ。民間企業出身で経営に精通する三幣利夫学長は常に外部からの視線を意識しており、学修成果を積極的に発信したいとの意向を持っているという。工藤龍雄IR・広報室長は「学生の力を伸ばしているというエビデンスを示したい。カリキュラムや教職員の働きかけが学修成果につながっていることを実証し、本学ならではの教育の特長を広く知ってもらいたい」と話す。

学生調査結果や就職状況等を公表

大学のDPIは図解でわかりやすく紹介 ▶